

# デジタルマニホールド WD3-32CMB 使用方法

## (ルームエアコンの場合)

### 真空引き時の使い方

- ①図1のように接続し、真空ポンプの電源を入れ、ハンドルを左側の位置のVACに切り替えます。ゲージ圧が $-0.100\text{MPa}$  付近になるのを確認したあと、更に15分以上真空引きを行ないます。
- ②真空引き終了後、ハンドルを真中の位置にしてマニホールドバルブを閉じ、真空ポンプの電源を切ります。その後、気密検査を行います。

### 冷媒充填時の使い方

- ①図2のように冷媒容器(ボンベ)及び、スケールを設置した後、上記、真空引き時の使い方①の通り、真空引きを行ないます。
- ②冷媒容器(ボンベ)と接続したチャージホース内の真空引き(エアパージ)を行う為、真空ポンプが起動したままの状態、ハンドルを右側のCHGに切り替えて、2~3秒後に再びハンドルをVACに合わせ、ゲージ圧が、 $-0.100\text{Mpa}$  付近になるまで真空引きを行ないます。その後、ハンドルをCHGに合わせます。この作業を繰り返し行ない、ハンドルをCHGとVACどちらに切り替えてもゲージ圧が $-0.100\text{Mpa}$  付近になるまで、真空引きを続けます。
- ③ハンドルを真中の位置にしてマニホールドバルブを開め、真空ポンプの電源を切り、気密試験を行ないます。
- ④冷媒容器(ボンベ)のバルブ開き、マニホールドのハンドルをCHGに切り替え充填作業を行ないます。
- ⑤規定の充填量になったら、ハンドルを真中の位置にしてマニホールドバルブを閉じます。その後、冷媒容器(ボンベ)のバルブを閉じます。

※サイフォン管の無いポンベは逆さにおいて充填作業を行ないます。

※本製品はマニホールド本体のみの為、図にあるマニホールド以外のその他の工具は含まれません。

